

さくほ こうえんかい
佐久穂で発見の化石について講演会

年 組 名前

佐久穂町の生涯学習館「花の郷・茂来館」で、東京学芸大名譽教授の松川正樹さんを講師に、同町で見つかった化石などに関する講演会が開かれます。どんな化石なのか、記事を読んでみましょう。

佐久穂で発見のアンモナイト化石

来月研究成果発表の講演会

化石採集などの活動をする「佐久穂地学同好会」は3月6日、佐久穂町の生涯学習館「花の郷・茂来館」で同町大日向で見つかったアンモナイトの化石などに関する講演会を開く。古生物に詳しい東京学芸大名譽教授の松川正樹さん(71)が講師を務め、研究成果を発表する。

アンモナイトの化石は、同町海瀬の井出秀一さん(67)と立科町の男性が約1億2500万年前の地層「石堂層」で発見した。昨年11月に松川さんが鑑定し、推定殻長20〜30センチの大型アンモナイト「クリオセラタイトス」の仲間と分かった。松川さんによると、県内で見つかることは珍しいという。

午前10時〜正午。無料。参加希望者は同館視聴覚室に集合。問い合わせは同好会代表の佐々木泰久さん(☎0267・88・2679)へ。



佐久穂町大日向で発見された大型アンモナイト「クリオセラタイトス」の化石(左右ともに)

(2022年2月3日朝刊・地域面〈東信〉)

①講演会を開くのは、何という会ですか。

④見つかった化石は、推定殻長（化石から推定した殻の長さ）が何センチの、何の仲間と分かりましたか。

推定殻長—

②見つかったのは、何の化石ですか。

仲間—

③化石は、何万年前の、何という地層から見つかりましたか。

⑤あなたの住む地域で、化石が見つかったことはありますか。どんな化石なのか、調べてみましょう。

何万年前—

地層—

さくほ こうえんかい
佐久穂で発見の化石について講演会

解答例

年 組 名前

佐久穂町の生涯学習館「花の郷・茂来館」で、東京学芸大名譽教授の松川正樹さんを講師に、同町で見つかった化石などに関する講演会が開かれます。どんな化石なのか、記事を読んでみましょう。

佐久穂で発見のアンモナイト化石

来月研究成果発表の講演会

化石採集などの活動をする「佐久穂地学同好会」は3月6日、佐久穂町の生涯学習館「花の郷・茂来館」で同町大日向で見つかったアンモナイトの化石などに関する講演会を開く。古生物に詳しい東京学芸大名譽教授の松川正樹さん(71)が講師を務め、研究成果を発表する。

アンモナイトの化石は、同町海瀬の井出秀一さん(67)と立科町の男性が約1億2500万年前の地層「石堂層」で発見した。昨年11月に松川さんが鑑定し、推定殻長20〜30センチの大型アンモナイト「クリオセラタイトス」の仲間と分かった。松川さんによると、県内で見つかることは珍しいという。

午前10時〜正午。無料。参加希望者は同館視聴覚室に集合。問い合わせは同好会代表の佐々木泰久さん(☎0267・88・2679)へ。

佐久穂町大日向で発見された大型アンモナイト「クリオセラタイトス」の化石(左右ともに)



(2022年2月3日朝刊・地域面(東信))

①講演会を開くのは、何という会ですか。

【答え】 佐久穂地学同好会

②見つかったのは、何の化石ですか。

【答え】 アンモナイト

③化石は、何万年前の、何という地層から見つかりましたか。

何万年前— 約1億2500万年前

地層— 石堂層

④見つかった化石は、推定殻長（化石から推定した殻の長さ）が何センチの、何の仲間と分かりましたか。

推定殻長— 20〜30センチ

仲間— 大型アンモナイト「クリオセラタイトス」の仲間

⑤あなたの住む地域で、化石が見つかったことはありますか。どんな化石なのか、調べてみましょう。

【答え】 略